**韓・日対照言語学的研究**

―受け身表現を中心に―

　　　　　　　洪吉童\*[[1]](#footnote-1)

(e-mail : [Hong-kd@hanmail.net](mailto:Hong-kd@hanmail.net))

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | <目　次> | |  |
|  |  |
| 1.　はじめに  2. 研究の目的及び方法  2.1. 研究の目的  2.2. 研究の方法 | | 3. 結果と分析  3.1. 結果  3.2. 分析  4. おわりに | |

キーワード：文法(Grammar)、文法(Grammar)、文法(Grammar)、文法(Grammar)、文法(Grammar)、文法(Grammar)

**1.　はじめに**

　本稿は現代韓国語と日本語における受け身表現を対象にして、対照言語学的観点から考察したものである。

　　(1)a. 子供が犬に噛まれた。

　　　 b. 아이가 개에게 물렸다.

本稿は現代日本語と韓国語における受け身表現を対象にして1)、対照言語学的観点から考察したものである～ 。

**2.　研究の目的及び方法**

本稿は現代日本語と韓国語における受け身表現を～

**2.1.　研究の目的**

　本稿は現代日本語と韓国語における受け身表現を～

〈表1〉洪吉童(2014：10)の下位分類

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 言語 | 日本語 | 韓国語 |
| 例文 | 子供が犬に噛まれた。 | 아이가 개에게 물렸다. |

　本稿は現代日本語と韓国語における受け身表現を～

**4.　おわりに**

　本稿は現代日本語と韓国語における受け身表現を～

**【参考文献】**

홍길동(2014)「한・일 문법화 고찰」『문화연구』제44호, 한국일본문화학회, pp.3-13.

李忠奎(2019)「日本語の複合動詞と韓国語の副詞との対応関係に関する研究」『日本語学研

究』59、韓国日本語学会、pp.159-178. (DOI: <http://dx.doi.org/10.14817/jlak>. 2019.59.159)

Stein, Dieter(1995) "Subjectivity" : Cambridge University Press, pp.113-135.

|  |
| --- |
| 論文投稿日 : 投稿者記入  論文審査日 : 出版社記入  掲載確定日 : 出版社記入 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **<要旨>** |  |
|  |  |
|  |  |  |

韓国語と日本語との対照研究

－受け身表現を中心にして－

洪吉童

本稿は現代韓国語と日本語の受け身表現を対象にして、対照言語学的な観点から考察したものである。本稿は現代韓国語と日本語の受け身表現を対象にして、対照言語学的な観点から考察したものである。本稿は現代韓国語と日本語の受け身表現を対象にして、対照言語学的な観点から考察したものである。本稿は現代韓国語と日本語の受け身表現を対象にして、対照言語学的な観点から考察したものである。本稿は現代韓国語と日本語の受け身表現を対象にして、対照言語学的な観点から考察したものである。本稿は現代韓国語と日本語の受け身表現を対象にして、対照言語学的な観点から考察したものである。本稿は現代韓国語と日本語の受け身表現を対象にして、対照言語学的な観点から考察したものである。本稿は現代韓国語と日本語の受け身表現を対象にして、対照言語学的な観点から考察したものである。本稿は現代韓国語と日本語の受け身表現を対象にして、対照言語学的な観点から考察したものである。本稿は現代韓国語と日本語の受け身表現を対象にして、対照言語学的な観点から考察したものである。本稿は現代韓国語と日本語の受け身表現を対象にして、対照言語学的な観点から考察したものである。

A contrastive study of Korean and Japanese

－focusing on passive voice－

Hong, Kil-Dong

This study is a research to discuss passive voice of Korean and Japanese. This study is a research to discuss passive voice of Korean and Japanese. This study is a research to discuss passive voice of Korean and Japanese. This study is a research to discuss passive voice of Korean and Japanese. This study is a research to discuss passive voice of Korean and Japanese. This study is a research to discuss passive voice of Korean and Japanese. This study is a research to discuss passive voice of Korean and Japanese. This study is a research to discuss passive voice of Korean and Japanese. This study is a research to discuss passive voice of Korean and Japanese. This study is a research to discuss passive voice of Korean and Japanese. This study is a research to discuss passive voice of Korean and Japanese. This study is a research to discuss passive voice of Korean and Japanese. This study is a research to discuss passive voice of Korean and Japanese.

1. \* 韓国日本文化大学、助教授、対照言語学

   1) 本稿においては以下の形態を受け身表現として認めることとする。 [↑](#footnote-ref-1)